

国内及び海外のブラインド等のひもに関する事故事例等

(国内)

- 国内では、6件の事故事例。うち死亡事故は1件。
- 東京都のヒヤリ・ハットに関するアンケートによると、子供のいる家庭の約3%が、ブラインドのひもやカーテンの留めひも(タッセル)で、何らかの危害、危険、ヒヤリ・ハットを経験している。経験時の年齢は3歳以下が多い。
- 東京都のヒヤリ・ハットに関するアンケートでは、「子供がひもを引っかけて遊んでいた」という事例が多く見られた。

(海外)

- 海外では、多数の事故事例があり、ローマンシェードの裏側のひもや、何らかの形で束ねられたループによる事故も報告されている。
- 米国では、リコールの事例も多いが、改善されているものも多い。

用語の定義

・「危害」経験とは

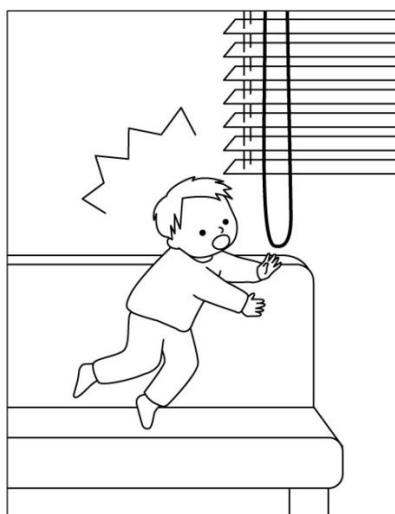
ひもに引っかかる・絡まる等して、ケガをした・窒息した等の経験を指します。

・「危険」経験とは

ひもに引っかかる・絡まる等したが、ケガ・窒息等はしなかった経験を指します。

・「ヒヤリ・ハット」経験とは

ひもに引っかかりそうになる・絡まりそうになる等して、ヒヤリとしたりハットとした経験を指します。



1. 国内のブラインド等のひもに関する事故事例等

(1) 主要データベース等から得られた事故(危害)事例

発生年月	子供の年齢性別	事故(危害)の内容		出典
2007.10	4歳男児	危害 (救急搬送、 軽症)	飲食店待合室のブラインドのひもで遊んでいるうち、誤って首にひもが引っかかり頸部を受傷。	TF
2012.7	1歳1ヶ月男児	危害 (救急搬送、 1ヶ月入院)	母親が居間に不在であった数分間に、カーテンのタッセルが前頸部にかかり、縊頸(いっけい)の状態となった。母親が発見した時、前のめりになるような姿勢で、前頸部に留めひもがかかっていた。足は床についていた。タッセル下端は床から50cmほどの高さ。子供は数歩程度の独歩が可能な発達段階。低酸素性脳症、全身性强直間代性痙攣(けいれん)と診断された。	IA
2012.11	6ヶ月男児	死亡	ベッドに寝かせていたが、ブラインドのひもが子供の首に巻いていて反応がないのを、床の上で発見された。病院到着後35分後に死亡が確認された。ベッドの高さは40cm。ベッド脇の窓のブラインドのひもが2本あり、一つは床に着き、もう一つは床から22cm離れたところまで垂れ下がっていた。22cmの方のひもに子供の首が引っかかり、心肺停止の状態で見つめられた。寝返りをしてベッドから落ちた際にたまたまひもが首に食い込んだと推測されている。	IA
2013.4	1歳男児	危害 (救急搬送、 軽症)	カーテンレールのひもに誤って首が引っかかったもの。	TF
2013.5	1歳6ヶ月男児	危害 (救急搬送、1 日の経過観察 入院)	自宅居間にいたが、祖母が洗濯物を干すために目を離れた10分以内にブラインドのひもに首をひっかけ意識のない状態になっていた。ひもは首に巻きついておらず、足は床についていた。意識はなかったが呼吸はしていた。3分ほど意識がない状態だった。一過性意識障害と診断された。頸部前方に約3/4周にひもによる圧迫痕を認めた。	IA
2013.7	1歳6ヶ月男児	危害 (受診せず)	ブラインドの高さを調節するひもに子供の首が引っかかった。擦過傷。	DB

出典) IA: 日本小児科学会 Injury Alert (傷害速報)¹

TF: 東京消防庁救急搬送事例

DB: 事故情報データベースシステム²

¹ <http://www.jpeds.or.jp/alert/index.html> (検索日: 2013年10月2日)

² http://www.jikojooho.go.jp/ai_national/ (検索日: 2013年10月2日)

(2) 主要データベース等から得られた事故(危険)事例

年月	子供の年齢・性別	事故(危険)の内容	出典
2011.4 (投稿年月)	不明	ブラインドのひもに、自分で首を引っかけて吊って、取れない状態になっていた。いつもと違う声が出て気づいたが、顔を赤くして首にひもがくいこんでいた。	CA
2011.10 (受付年月)	1歳	ブラインドのひもに子供の首が引っかかり、危うく首を吊るところだった。	DB
2013.5 (投稿年月)	1歳女児	ベッドで遊んでいて、ベッド横のブラインドのひもに首が引っかかり、大声で泣いていた。	CA

出典) DB: 事故情報データベースシステム

CA: 消費者庁ホームページ「子どもを事故から守る! プロジェクト 皆様からお寄せいただいた体験談や工夫の紹介」³

³ <http://www.caa.go.jp/kodomo/> (検索日: 2013年10月2日)

(3) 東京都ヒヤリ・ハットに関するアンケート

東京都が、消費者に対して行ったアンケートの中で、協議会テーマ「ブラインド等のひもの安全対策」に関連する部分について報告する。

アンケート1「乳幼児のやけどの危険（ヒヤリ・ハット）に関するアンケート」

・調査対象者：都内、神奈川県、千葉県、埼玉県に居住する0歳から6歳（未就学児）の子供を持つ20歳以上の男女

（この設問についてのみ、0～6歳の子供の他に、小学生の子供がいる場合、その子供についても対象としている。）

・有効回答数 3,000件

・アンケート実施期間：平成25年8月23日から9月4日まで

《設問》ブラインドのひもやカーテンの留め具（タッセル）に、あなたのお子さんの首がかかった、かかりそうになった、体が巻きついたといった経験はありますか。
（回答は「ある」「ない」の二択。詳細について自由記述。）

・3,000件のアンケートで経験が「ある」と回答のあった事例100件は下記のとおり

ブラインド・スクリーン等	ループ状部分への引っ掛け	首	【危害】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしたが、病院を受診しなかった	1件
			【危険】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしそうになった	24件
			【ヒヤリ・ハット】 ひもが首に引っかかり（絡まり）そうになった、ひもを首に引っかけて遊んでいた	32件
		手足等	ひもが手足に引っかかった。（転倒、ブラインド落下なども含む）、ひもを手足に巻き付けて遊んでいた	34件
小 計				91件
カーテン	ループ状部分への引っ掛け	首	【危害】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしたが、病院を受診しなかった	0件
			【危険】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしそうになった	3件
			【ヒヤリ・ハット】 ひもが首に引っかかり（絡まり）そうになった、ひもを首に引っかけて遊んでいた	4件
		手足等	カーテンのひもに手足が引っかかった	1件
小 計				8件
覚えていない				1件
合 計				100件

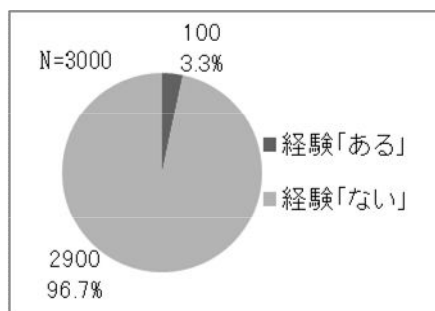


図1 経験の有無

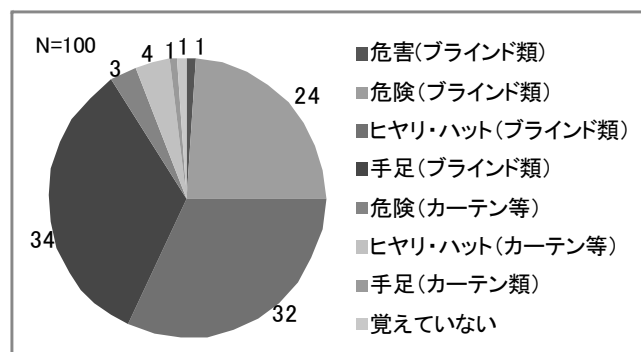


図2 経験内容の内訳

「ブラインドのひも」に首が引っかかった事例 25 件（【危害】1 件と【危険】24 件）について、記述内容を抜粋。

【危害】ケガや窒息をしたが病院を受診しなかった

- ・床すれすれに垂れていたひものそばでふざけて遊んでいて、急に走り出した時にひもが首に引っかかり、一瞬首吊り状態で足が浮いてひっくり返りました。ひもには、垂れさがらないように上部で止めるためのクリップが付いていましたが、その時は使っていませんでした。息子は首に赤い跡が付き、泣きましたが、大事には至りませんでした。怖かったです。

【危険】ケガや窒息をしそうになった。

- ・はいはいをしていてひもに首が引っかかって泣いた。泣き声で気付いた。
- ・ボールチェーンに首が引っかかってしまった。
- ・ひもに首が巻きつき転んだ。すぐに気がつき大丈夫だったが、親が気を付けなまいといけな。
- ・ホームセンターでブラインドのひもをいたずらして首に巻きついた。びっくりして泣いていた。
- ・子供がブラインドのひもで遊んでいたら首に絡まってしまった。
- ・一人でブラインドのひもで遊ぶようになり、泣くので見ると首にひもがかかっていた。
- ・ロールカーテンのひもで遊んでいたら首が引っかかってしまった。
- ・遊んでいるときに、操作用コードに首を引っかけたことが何度もある。友達の首にコードを引っかけたこともある。
- ・ブラインドのひもで遊んでいた際、首が絡まっていた。
- ・引っ張ったり振り回して遊んでたら首にかかったことがありひやっとした。
- ・動こうとしたら首にひもが引っかかり、ママと呼んできた。
- ・つまずいて転んだ時にブラインドのヒモに首がかかって首吊り状態に。
- ・ひもで遊んでいて首に絡まった。同じ部屋にいてすぐに気が付いたので事なきをえた。
- ・宿泊先で、窓の外を見に行こうとした際に、ロープが首に引っかかった。
- ・夜寝ているときにブラインドのひもが首や体にまきついて苦しくて目が覚めた。ケガはなし。
- ・ブラインドのひもがたれていて遊び半分で首に巻きついてしまった。
- ・遊んでいるときに首に引っかかっているのに気が付かずジャンプしてしまい、引っかかった。
- ・悪ふざけで遊んでいるときに、ひもが首に巻きついた。
- ・そばを走っていた 1 歳過ぎの娘の首に引っかかった。また、たまたま転んだときに手や顔がブラインドのひもに入ってしまったまま絡まった。
- ・ひもで子供たちが遊んでいて、体や首に巻きついてしまった。
- ・ロールカーテンのひもの事故がありましたが、うちも同じ経験があったのでひもを結んでいました。
- ・すだれのひもを引っ張って遊んでおり、首に絡みついていた。声をあげたので何も無く済んだ。
- ・わざと自分から、ひもに体をぐるぐるに巻こうとして、首にひもが引っかかっている状態でバランスを崩して転倒。ひもに外れやすい部品が付いていたため、特にけがなし。
- ・足に引っかかって転んだり、首に巻きついたりしました。

「カーテンの留めひも」に首が引っかかった事例3件（【危険】3件）について、抜粋。

【危険】ケガや窒息をしそうになった

- ・カーテンのひもにつかまってよろけてひもに首が引っかかって重力ですぐ取れたが危険だった。
- ・ひもに絡まり自分で取るうともがいて逆に首に引っかかった。ケガはなかったが苦しかったようで泣いた。
- ・カーテンのとめ具に首を引っかけたが、重さでとめ具が外れて負傷しなかった。

「ブラインドのひも」の首が引っかかった事例（【危害】・【危険】）についての年齢構成は下記のとおり

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	不明	合計
3件	2件	2件	3件	0件	2件	0件	13件	25件

アンケート2「小学生の身の回りの危険（ヒヤリ・ハット）に関するアンケート」

・調査対象者：都内、神奈川県、千葉県、埼玉県に居住する小学生（1年生から6年生まで）
の子供を持つ20歳以上の男女

（本設問には、乳幼児の時の経験についてもお聞きする旨を記載している。）

・有効回答数 3,000件

・アンケート実施期間：平成25年8月9日から8月23日まで

《設問》ブラインドのひもやカーテンの留め具（タッセル）に、あなたのお子さんの首がかかった、かかりそうになった、体が巻きついたといった経験はありますか。
（回答は「ある」「ない」の二択。詳細について自由記述。）

・3,000件のアンケートで経験が「ある」と回答のあった事例91件は下記のとおり

ブラインド・スクリーン等	ループ状部分への引っ掛け	首	【危害】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしたが、病院を受診しなかった	2件
			【危険】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしそうになった	16件
			【ヒヤリ・ハット】 ひもが首に引っかかり（絡まり）そうになった、ひもを首に引っかけて遊んでいた	12件
		手足等	ひもが手足に引っかかった。（転倒、ブラインド落下なども含む）ひもを手足に巻き付けて遊んでいた	19件
		小計		49件
カーテン	ループ状部分への引っ掛け	首	【危害】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしたが、病院を受診しなかった	1件
			【危険】 ひもに引っかかり（絡まり）ケガや窒息をしそうになった	2件
			【ヒヤリ・ハット】 ひもが首に引っかかり（絡まり）そうになった、ひもを首に引っかけて遊んでいた	2件
		手足等	カーテンのひもに手足が引っかかった	1件
		小計		6件
覚えていない				36件
合 計				91件

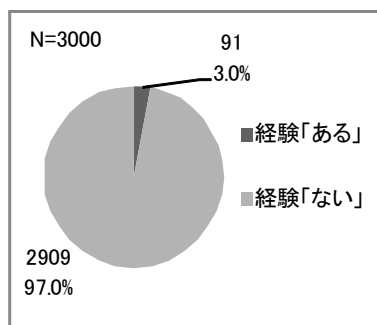


図3 経験の有無

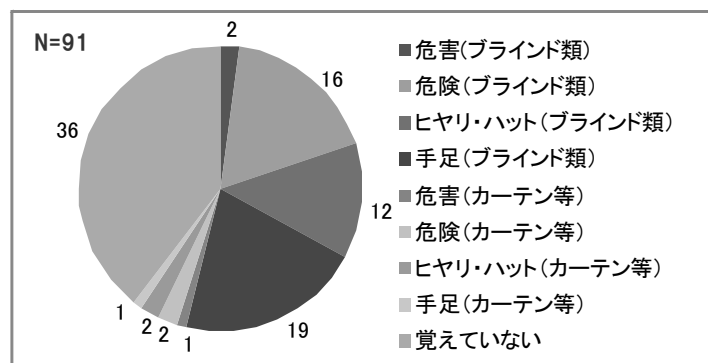


図4 経験内容の内訳

「ブラインドのひも」に首が引っかかった事例 18 件（【危害】2 件と【危険】16 件）について、記述内容を抜粋。

【危害】ケガや窒息をしたが病院を受診しなかった。

- ・病院には行かなかったが、首にくっきり痣ができた。
- ・すぐに抱きかかえて下ろしたが、首に擦り傷ができた。

【危険】ケガや窒息をしそうになった。

- ・子供の首にひもがかかってしまい、あわてて外した。
- ・ブラインドの下で遊んでいたとき首に引っかかって、自分で抜け出せなかった。
- ・ひもが首にかかった状態で動き回っていた。首が絞まる可能性があり怖かった。
- ・ベッドのわきにあるブラインドのひもが首にかかって危なかった。
- ・運悪く輪に首が入り、首がしまる出来事があった。
- ・ブラインドのひもが首に引っかかったことがある。幸いすぐに外れるような安全装置がついているがそうでない商品だったら怖い。
- ・長いひもに引っかかって、首が吊った、転んだ。
- ・そばにいたのですぐに外せたが、いない時に起きたら大変だと思った。
- ・動いたら首が締められそうだった。実際はすぐに気が付いたので、回避はできた。
- ・移動しようとしたときに首にひもが引っかかり首が閉まりそうになった。
- ・たまたま近くにいたのですぐに助けられて大した事故にはならなかったが、本当に怖かった。
- ・首が引っかかって絡まっていた。すぐに気付いて外したので大事には至らなかった。
- ・病院内や店舗のブラインドで子供が遊んでいて首や足が絡まったことがある。
- ・首が引っかかって転んだが頭を軽く打っただけで済んだ。
- ・自分で開けた時首に引っかかり、一緒にいたのですぐに取り除いた。
- ・すだれのひもが首に引っかかり、取ろうとしてあせり、余計首を絞めた。

「カーテンの留めひも」に首が引っかかった事例 3 件（【危害】1 件と【危険】2 件）について、記述内容を抜粋。

【危害】ケガや窒息をしたが病院を受診しなかった

- ・ソファーによじ登って、窓際のカーテンのひもに首をかけてしまった。子供のうめき声ですぐに気付いたので、何事もなく済んだ。

【危険】ケガや窒息をしそうになった

- ・カーテン巻のひもが子供の首にかかった。
- ・カーテンタッセルで首が引っかかってしまったが、ひもが切れてはずれたので大事に至らなかった。

「ブラインドのひも」に首が引っかかった事例（【危害】・【危険】）についての年齢構成は下記のとおり

0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	不明	合計
0 件	0 件	7 件	5 件	0 件	1 件	1 件	4 件	18 件

2. 海外のブラインド等のひもに関する事故事例について

(1) 主要な事故統計データ

米国

- ・ 米国消費者製品安全委員会の統計によれば、1985年から2012年までに窓カバーのひもでの死亡事故が324件、負傷事故が122件起きている（Parents for Window Blind Safety、米国消費者連合等9団体による米国消費者製品安全委員会に対する窓カバーの安全性に関する立法を求める嘆願書、2013年6月）
- ・ 米国では、1996年1月から2002年12月までに窓カバーによる79件の死亡事故の発生が報告されている（2004年米国消費者製品安全委員会報告書）
- ・ 米国消費者製品安全委員会は、2006年から2009年までにローマンシェードでの5件の死亡事故と16件の縊頸（いっけい）に近い重大事故、2001年から2009年までロールアップ式ブラインドでの3件の死亡事故の報告を受けている（米国消費者製品安全委員会2009年12月15日プレスリリース）

欧州

- ・ 欧州連合の15カ国において、1998年の1年間にブラインドまたはカーテンのひもの事故で129名の子供が入院した（2011年欧州委員会決定で引用された統計 / 2004年欧州消費者安全協会報告書）
- ・ 2008年から2010年までの間、英国、アイルランド、フィンランド、オランダ及びトルコにおいて15ヶ月から36ヶ月までの子供の死亡事故が10件認識されている（2011年欧州委員会決定で引用された統計）

英国

- ・ 英国では、2010年から2013年2月までに13件のブラインドひもによる死亡事故が発生した（BBCニュース）

カナダ

- ・ カナダ保健省によれば、カナダでは1986年から2010年までに28件のブラインドひもによる事故が発生した（CBCニュース）

オーストラリア

- ・ オーストラリア公正取引・消費者委員会（ACCC）によれば、1990年代から少なくとも15件のブラインドまたはカーテンひもによる死亡事故が発生した（シドニーモーニングヘラルド）
- ・ 2000年から国内で12件以上のブラインドひもによる死亡事故が発生した。年々、縊頸（いっけい）に近い状態で助かる例も増えている（ナチュラル・ペアレンティング2013年3月記事）

(2) 米国においてリコール対象となった製品による重大事例

- ・ 米国消費者製品安全委員会はリコール関連製品の事故情報を提供している。最近の事故情報は次のとおりである。なお、リコールされた製品を再販売することまたは再販売を企図することは法令違反である。

発生年月	子供の年齢・性別	事故の内容	
2006.5	4歳女児	死亡	タテ型ブラインドのコードのひものループによる縊頸(いっけい)。ひもは壁や床に固定されていなかった。(2009年8月A社たて型ブラインドのリコールの一因)
2007.11	1歳男児	死亡	持ち運び式ベビーベッドのなかに落ちたロールアップブラインドのひものループに引っかかった。(2009年8月B社リコールの一因)
2008.3	2歳男児	擦過傷・後遺症なし	おもちゃのいすに登って窓の外を見ようとしてローマンシェード(中国製)の内部のひもに首が引っかかった。両親が外した。(2009年10月C社リコールの一因)
2008.4	1歳女児	死亡	ローマンシェードの内部のひもによる縊頸(いっけい)。(D社のリコールの促進要因)
2008.4	2歳男児	負傷	ローマンシェードの内部のひもによる縊頸(いっけい)。(D社のリコールの促進要因)
2008.10	13ヶ月男児	死亡	ローマンシェードの裏側の内部ひもと布の間に頭が引っかかった状態。耳の間の圧迫による死亡。(2009年8月B社のリコールの一因)
2009.	2歳女児	死亡	タテ型ブラインドのひものループ(壁や床への固定なし)に首が引っかかった。(2012年9月E社のリコールの一因)
2009.05	5歳男児	治療不要	ローマンシェードのひものループに絡まった。(2009年12月F社リコールの一因)
2009.11	2歳男児	不明	ローマンシェードの内部のひもに首と腕が絡まった。(2009年12月G社のリコールの一因)
2010.2	18ヶ月男児	負傷	ローマンシェードのひもによる縊頸(いっけい)。(2009年12月D社リコールのリコール対象製品)
2010.5	22ヶ月男児	死亡	ローマンシェードの外部の引きひもに首がかかった状態で発見された。引きひもはボタンの部分で結ばれていた。(2009年10月C社のリコール対象製品)
2010.7	4歳男児	擦過傷	ローマンシェードのひもに首が絡まった。(2009年12月G社のリコール対象製品)

出典) 米国消費者製品安全委員会のリコール情報より検索・整理

上記以外に、死傷者がなかったものの、製品が縊頸(いっけい)をもたらす危険性を理由にリコールされた製品は、最近の例でも以下などがある⁴。

- ・ 2012.11 H社製プリーツスクリーン(コードを止める安全器具の不具合が原因)
- ・ 2011.10 I社のローマンシェードとロールアップブラインド(ひもに縊頸(いっけい)の危険があり、2010年3月に実施したリコールを再告知)
- ・ 2011.06 J社製ローマンシェード(内部ひもによる縊頸(いっけい)の危険が原因)

⁴ 米国消費者製品安全委員会は同委員会サイト内に「窓カバー情報センター」を設け、過去の安全対策やリコール情報等をまとめて提供している。

(3) 当局報告書(2004年)による事故統計

米国消費者製品安全委員会は報告書「窓カバーコードによる死亡事故分析」(2004年11月)のなかで、1996年から2002年に発生した79件のうち十分な情報を得た66件の死亡事故に関して包括的に分析している。その概要は以下のとおり。

- ・ 犠牲となった子供の月齢は8ヶ月から78ヶ月(6歳半)と幅広いが、12ヶ月から15ヶ月に集中している。
- ・ 縊頸(いっけい)の原因として、製品の一部であるループが約4割、何らかのかたちで束ねられたループが約3割、ブラインドやローマンシェードの内側のひもが約2割、子供が自ら巻きつけたケースが約1割であった。
- ・ 任意規格に整合しているケースが5割強、不整合のケースが4割弱であった。

(4) 報道等から得られた最近の各国の重大事例

発生年月	発生国	子供の年齢・性別	事故の内容	
2000.2	米国	1歳1ヶ月	死亡	寝室にあったブラインドのひもに首が引っかかった。
2008.4	カナダ	2歳女児	死亡	ブラインドのひもに首が引っかかった。ひもは緩んでおり、首に巻きつく可能性が高い状態だった。
2010.2	英国	1歳4ヶ月	死亡	ブラインドのひもに首が絡まった。
2010.2	英国	3ヶ月男児	死亡	アニメ番組を見ているとき、誤ってブラインドのひもに首が絡まった。
2010.	米国	1歳6ヶ月	救急搬送	自宅リビングでブラインドのひもに首が引っかかった。
2011.5	英国	1歳6ヶ月男児	死亡	ローマ式ブラインドのひもに、首が引っかかった。
2011.	オーストラリア	3歳女児	死亡	キッチンでブラインドのひもに、首が引っかかった。
2012.8	英国	3歳女児	死亡	寝室のベッドで昼寝をしていたところ、ブラインドのひもに首が絡まった。
2012.10	英国	2歳女児	死亡	ブラインドのひもに引っかかった。
2012.11	カナダ	2歳男児	死亡	ブラインドのひもに引っかかった。
2013.2	英国	1歳6ヶ月男児	死亡	ブラインドのひもに首が引っかかった。
2013.4	米国	2歳男児	死亡	寝室にある窓によじ上ろうとした際に、ブラインドのひも(ナイロン製)に首が引っかかった。
2013.5	オーストラリア	2歳	死亡	ブラインドのひもが首に巻きついた。
2013.7	米国	3歳男児	意識不明回復	ブラインドのひもに首が引っかかった。発見時は意識不明なるも、駆けつけた警官による応急処置で回復。
2013.8	オーストラリア	1歳6ヶ月男児	死亡	寝室でベッド横にあったブラインドのひもに誤って首が引っかかったもの。

出典) 以下の各国インターネットニュース、情報交換サイト等

米国: CBS ニュース(インターネット)、NBC ニュース(インターネット)、Philly.com(インターネットニュース)

英国: BBC ニュース(インターネット)、Mail オンライン(インターネットニュース)、Parent dish(情報交換サイトのニュース)、Independent.ie(アイルランドのインターネットニュース)、FOX、ニュース(インターネット)

オーストラリア: シドニーモーニングヘラルド(インターネット)、ナチュラル・ペアレンティング(インターネットニュース)、Go Articles.com(ウェブダイレクトリー)、The Telegraph(インターネットニュース)

カナダ: CBC ニュース(インターネット)